スケジュール

	5F	4F	2F
2024 4	モネ 連作の情景 5月6日(月・休)	没後50年 福田平八郎 5月6日(月・休)	
5			
6	2024年5月25日(土) 没後30年 木下佳通代 8月18日(日)	2024年6月15日(土) 開創1150年記念 醍醐寺　国宝展 8月25日(日)	
7			
8			
9	2024年9月14日(土) 塩田千春 つながる私 12月1日(日)	2024年9月14日(土) 開館3周年記念特別展 TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・ コレクション 12月8日(日)	Osaka Directory Supported by RICHARD MILLE 7 小松千倫 11.16–12.15
10			
11			
12	2024年12月21日(土) Space In-Between: 吉川静子と ヨゼフ・ミューラー ＝ブロックマン 2025年3月2日(日)	2024年12月21日(土) 歌川国芳展 ―奇才絵師の魔力 2025年2月24日(月・休)	8 谷中佑輔 12.21–1.19 9 KOURYOU 1.25–2.24
2025 1			
2			
3			

OSAKA directory Supported by RICHARD MILLE

7｜小松千倫｜2024年11月16日(土)－12月15日(日)
8｜谷中佑輔｜2024年12月21日(土)－2025年1月19日(日)
9｜KOURYOU｜2025年1月25日(土)－2月24日(月・休)
大阪中之島美術館が関西・大阪21世紀協会と主催する、関西ゆかりの若手アーティストを個展形式で紹介するシリーズの展覧会です。

ラーニング・プログラム

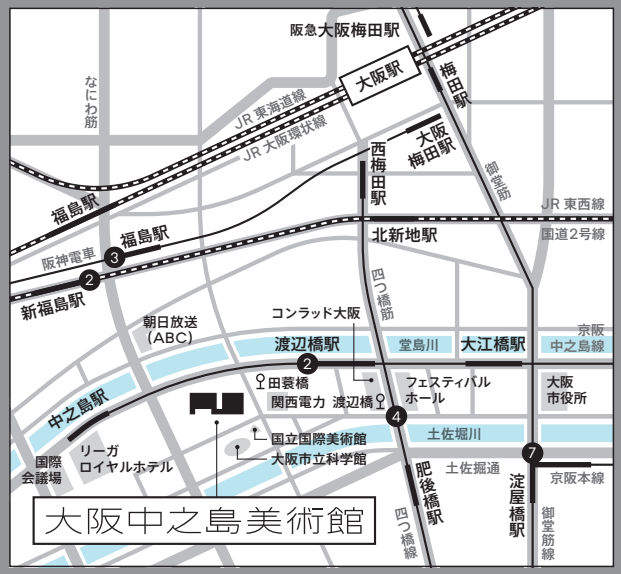
大阪中之島美術館では美術とデザイン作品を楽しみ、想像力や創造力を高めるプログラムを、さまざまな専門機関と連携して実施していきます。＊詳しくは当館ホームページをご覧ください

INFORMATION ご利用案内

展示室 ── 10:00－17:00 ＊入場は閉場30分前まで。展覧会により異なる場合あり
休館日 ── 月曜日 ＊祝日の場合は翌平日
＊店舗営業日・時間は当館ホームページをご覧ください
観覧料 ── 展覧会ごとに異なります
チケット ── 当館チケットサイトにてご購入いただけます
＊詳しくは当館ホームページをご確認ください

＊臨時休館、営業時間変更の場合がございますので、当館ホームページにてご確認ください

ACCESS アクセス



■電車
- 京阪中之島線渡辺橋駅(2番出口)より徒歩約5分
- Osaka Metro四つ橋線肥後橋駅(4番出口)より徒歩約10分
- JR大阪環状線福島駅 / 東西線新福島駅(2番出口)より徒歩約10分
- 阪神福島駅より徒歩約10分

■バス
- 大阪シティバス JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分

■車｜自転車
- 駐車場72台(有料・時間貸)
- 駐輪場130台(うち原付7台)

大阪中之島美術館
530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
TEL: 06-6479-0550　WEB: https://nakka-art.jp
@nakkaart2022

文化庁　令和五年度　文化庁　文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

EXHIBITION SCHEDULE 2024.4-2025.3 展覧会スケジュール

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

没後30年 木下佳通代　No.1

2024年5月25日(土)－8月18日(日)
会場｜5階展示室

関西の戦後美術を代表する作家のひとり、木下佳通代(1939-1994)の個展を国内の美術館として初めて開催します。写真を用いた70年代の作品から、80年代以降亡くなるまで挑み続けた絵画作品まで、一貫して「存在とは何か」という問いに向かい続けた作家の代表作を一堂に展示します。

上:木下佳通代
《93-CA793》1993年
大阪中之島美術館蔵
下:木下佳通代
1987年頃 アトリエにて

開創1150年記念 醍醐寺　国宝展　No.2

2024年6月15日(土)－
8月25日(日)
会場｜4階展示室

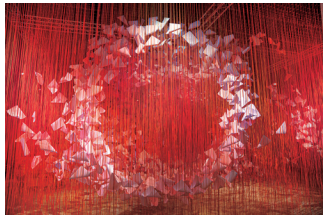
醍醐寺は貞観16年(874)理源大師聖宝によって建立され、真言密教のうち加持祈禱や修法などの実践を重視する寺として発展してきました。大阪では初めての大規模企画となる本展では、国宝《文殊渡海図》、重要文化財の《不動明王坐像　快慶作》など貴重な寺宝を紹介します。

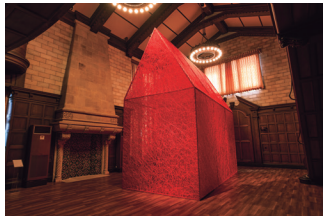
上:国宝《文殊渡海図》鎌倉時代(13世紀)
下:重要文化財《如意輪観音坐像》平安時代(10世紀)
すべて 画像提供:奈良国立博物館

塩田千春　つながる私(アイ)　No.3

2024年9月14日(土)－12月1日(日)　会場｜5階展示室

塩田千春(1972-)の出身地・大阪で、16年ぶりに開催する大規模な個展です。インスタレーションを中心に絵画、ドローイングなどを展示する本展は、他者との「つながり」に、3つの【アイ】－「私／I」、「目／eye」、「愛／ai」を通じてアプローチを試みるものです。





上:塩田千春《The Eye of the Storm》
2022年 画像提供:バンコクアートビエンナーレ
©JASPAR,Tokyo, 2023 and Chiharu Shiota
下:塩田千春《家から家》2022年
写真:サニー・マン ©JASPAR, Tokyo, 2023 and Chiharu Shiota

開館3周年記念特別展　No.4

TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション

2024年9月14日(土)－12月8日(日)　会場｜4階展示室

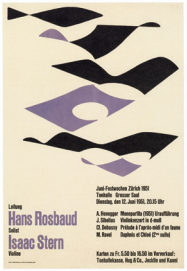
パリ市立近代美術館、東京国立近代美術館、当館のコレクションより、34のテーマについて1点ずつを選出し、3点1組のトリオを作って約150点を紹介します。モディリアーニ、マティスなどの人気作家の作品はもとより、作品どうしが生み出す新たな化学反応をお楽しみください。

上:アメデオ・モディリアーニ
《髪をほどいた横たわる裸婦》1917年
大阪中之島美術館蔵
下:アンリ・マティス《椅子にもたれるオダリスク》
1928年 パリ市立近代美術館蔵
photo: Paris Musées/Musée d'Art moderne de Paris

Space In-Between: 吉川静子とヨゼフ・ミューラー＝ブロックマン　No.5

2024年12月21日(土)－
2025年3月2日(日)　会場｜5階展示室

国内初となる吉川静子(1934-2019)とJ・M＝ブロックマン(1914-1996)の大規模な回顧展。スイスを代表するデザイナーのM＝ブロックマンによる構成的デザインと吉川の芸術、そして夫婦として創造的な生涯を共に過ごした二人の活動の軌跡をご堪能ください。



上:吉川静子《m432 'cosmic fabric' - radiant - 2》
1991-1993年　Copyright and courtesy of the Shizuko Yoshikawa and Josef Müller-Brockmann Foundation
下:ヨゼフ・ミューラー＝ブロックマン《6月の祝祭週間コンサート・チューリッヒ》1951年 大阪中之島美術館蔵
©Museum für Gestaltung Zurich, Switzerland

歌川国芳展 ―奇才絵師の魔力　No.6

2024年12月21日(土)－2025年2月24日(月・休)
会場｜4階展示室

江戸末期の浮世絵師、歌川国芳(1797-1861)は、奇抜なアイデアや斬新なデザインで名高く国内外で高い人気を誇ります。本展は国芳展の決定版として、武者絵や戯画をはじめとした幅広い画題の浮世絵版画や貴重な肉筆画など、約300点を展示します。

歌川国芳《鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘》弘化2年(1845)頃

歌川国芳
《相馬の古内裏》
弘化2-3年(1845-46)